

最期まで自分らしく生きる

あなたはどう逝きたいか？

見送りたいか？

人生の最期は当然、病院で迎えると思っていませんか？「最期まで家で暮らしたいけど、家族には迷惑をかけたくない。どうしたら？」「延命治療って何？」など自分らしい最期を迎えるためには、様々な疑問があります。最期を迎える時、自分はどうしたいのか、大切な家族を見送るには何を選択しなければいけないか、考えてみるきっかけにしてみませんか。

令和2年9月12日（土曜日）

松山市三番町4丁目5-3
愛媛県医師会館3階（理事室）
（参加無料）

駐車場がございません。公共の交通機関をご利用ください。

14:00- 基調講演（Web配信）

演題「最期まで自分らしく生きる」
あなたはどのよう逝きたいか？見送りたいか？

講師 日本尊厳死協会副理事長
長尾 和宏氏

14:40- 質疑応答（Web討議）

司会 阿南医療センター
緩和ケア内科部長 病院長補佐
寺嶋 吉保氏

回答者

日本尊厳死協会副理事長
長尾 和宏氏

講師：長尾 和宏 氏

医療法人社団裕和会 理事長、長尾クリニック 院長
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来療から在宅医療まで「人を診る」総合診療目指す。「平穏死・10の条件」、「墓のやめどき」、「痛くない死に方」はいつでもベストセラ。最新刊「糖尿病と脳腫瘍」「男の孤独死」、「痛い在宅医」は発売即重版、他著書多数。

